

授業科目	教育方法論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE34108J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	木村 政伸							
授業概要	<p>教育方法についての基本原理及び基礎理論から、最近の教育改革における教育方法及び技術についてまでを学び、実際に有用な学習指導案を作成する。</p> <p>授業では、反転授業、ディスカッション(討論)、グループワーク、学生による発表(演習)などを行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方法の基礎的理論と実践を理解している。</li> <li>・これからの社会を担う子供たちの求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方(主体的・対話的で深い学びの実現など)を理解している。</li> <li>・学級・児童及び生徒・教員・教室・教材など授業を構成する基礎的な要件を理解している。</li> <li>・学習評価の基礎的な考え方を理解している。</li> <li>・話法・板書など、授業を行う上での基礎的な技術を身に付けている。</li> <li>・基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成することができる。</li> <li>・子供たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、情報機器等を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。</li> <li>・子供たちの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための指導法を理解している。</li> <li>・授業案に基づいて実際の発問などができる。</li> <li>・他人の授業を見て評価することができる。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	30	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	0	60	30	10		100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				30	10		40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

教育実践に関わる理論を修得し、諸課題に応じた学習指導案の作成や実践記録の分析を的確に行うことができる。		教育実践に関わる基礎的知識を身につけ、諸課題に応じた学習指導案の作成や実践記録の分析を行うことができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	これまで経験した教育方法の振り返り	講義・グループワーク	復習:該当部分の復習	60
2	教育方法の基礎理論 (1) 前近代の教育方法	講義	復習:該当部分の復習	60
3	教育方法の基礎理論 (2) —教えない教育—	講義・反転授業	予習:教材映像を視聴しておく 復習:該当部分の復習	60
4	教育方法の基礎理論(3) —陰山メソッド—	講義・反転授業	予習:事前に資料映像を視聴する 復習:該当部分の復習	60
5	アクティブラーニングの技法(1) —グループワークの技法—	グループワーク	復習:該当部分の復習	60
6	アクティブラーニングの技法(2) —KJ法—	グループワーク	復習:該当部分の復習	60
7	アクティブラーニングの技法(3) —データの構造的整理の技法—	グループワーク	復習:要点、課題の確認	60
8	開発主義の方法 —生徒の主体的な学習の基礎—	演習・反転授業	予習:教材映像を視聴しておく 指導案の準備、確認	60
9	よい授業とは何か —教師の授業計画と子どもの反応が違った場合—	演習	予習:事前に資料映像を視聴する 復習:要点、課題の確認	60
10	教育測定と評価	演習 討論	復習:要点、課題の確認	60
11	学習指導案を作る (1) 教材研究の技法	演習	復習:要点、課題の確認	60
12	学習指導案を作る (2) 授業計画を作る	演習	復習:該当部分の復習	60
13	授業の技術と展開 (1) 模擬授業を行う	演習 討論	復習:要点、課題の確認	60
14	授業の技術と展開 (2) 授業案の相互点検	演習 討論	復習:該当部分の復習	60
15	学習のまとめと確認	講義	復習:該当部分の復習	60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	理論と実践の統一的理解が必要であるため、授業や教科外教育についての客観的、分析的視点とともに主体的、協同的な学習参加が重要である。			
テキスト	テキストは特に用いない。プリント配布予定。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	平成 29 年3月改訂学習指導要領(小学校、中学校)Web 版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	無着成恭編『山びこ学校』や斉藤喜博著『学校づくりの記』など、戦後のすぐれた実践記録をできるだけ多く読破してほしい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	小テストは、採点后授業の中で解答例を示しながら解説をし、各自には点数を知らせる。 レポートは、全体に対してコメントを公表する。			

